

# カシマなでしこ

カシマから全国へ

男子に続き、女子が活躍する部活動も盛り上げていこうと、まずは女子ソフトボール、女子バレーボール、女子サッカーの3種目を強化します。カシマから全国へ大きくはばたこうとする、熱い心を持つ女子学生を待っています。



## 女子バレーボール部

監督 張 誠珏

1998年より上海選抜チームに所属し、2002年、高校1年生で中国ナショナルチームのメンバーに抜擢され、祖国を代表して「女王杯」に出場。翌03年、九州の高校にスカウトされて日本留学。大学時代には東西対抗大学バレーボール選手権メンバーに選出され、西軍のエースアタッカーとして活躍。高校、大学時代の活躍を買われて2011年4月、鹿島学園高校女子バレー部の強化部指定を機に監督就任。

「練習は厳しく普段は柔和に——<sup>にこやか</sup>緩急ある生活態度が社会で有為な人の資質」これが張監督の信念である。



### 監督からのメッセージ

自分の経験を余すところなく伝え、全国を目指しながら、規律、マナー等、基本的な生活習慣もしっかり身に付けさせたいと思います。

## 女子ソフトボール部

監督 小池一生

中央大学卒業後、実業団を振り出しに、通算7年間国体強化選手として活躍。その後、愛媛女子短期大学に着任し、「町興しのスポーツ」を研究テーマとした「小池ゼミ」を開講。「町興しのスポーツ」は、単に「形而上学的研究」にとどまらず、四国南西部における「過疎化地区でのソフトボール部設置」に通じ、それが同地区のスポーツ及び経済発展に貢献した。

指導者として、「四国地区大会10年連続優勝」という快挙を達成。また、西日本ソフトボール選手権大会で準優勝1回、3位4回、全日本女子ソフトボール選手権大会3位1回、8位4回の実績を誇る。さらに、小池の指導を受けた選手の50名近くが日本リーグ実業団に進む。



### 監督からのメッセージ

「さんかん」を合言葉に頂点を目指しましょう。「さんかん」は、高校ソフトボールの世界では通常「インターハイ」「高校選抜」「国体」の3大会制覇(3冠)の意味で使われていますが、3冠を目標として努力する過程で「感激」し、「感動」し、そして「感謝」する気持ちを素直に持てる人間に成長して欲しいと思います。上手下手に関わらず、ソフトボールの好きな人は先ず、鹿島学園ソフトボール部の門を叩いてみてください。そこから「3感」が生まれます。一生懸命頑張れば、必ず道が開け、3冠が達成できます。

## 女子サッカー部

監督 高内 美希

本校卒業生。高校時代はクラブチームに所属し、サイドバックとして攻守にわたり活躍。豊富な運動量と、優れた技術が評価され、U-18茨城県代表に選出される。大学進学後もサッカーを続け、全日本大学女子サッカー選手権大会に出場し、3位に輝く。2010年4月、鹿島学園高校女子サッカー部創設と同時に監督就任。全国を目指し、熱血指導を行う。



### 監督からのメッセージ

勝利を目指すだけでなく、規範意識や思いやりといった、サッカー以外の大切な事柄も、しっかり身につけるよう指導していきます。サッカーを通して、プレーヤーとして、また人間として、成長して欲しいと思います。